

令和5年度第1回駒来塾運営委員会

《日 時》	令和5年7月14日(金) 午前10時～11時
《場 所》	小牧市役所 本庁舎3階 301会議室
《議 事》	(1) 学習支援事業「駒来塾」概要について (2) 6月以降の駒来塾運営について (3) 生徒の追加募集について (4) 駒来塾見学会について
《出席者》	委 員：舟橋委員、松浦委員、光部委員、安藤委員、梶田委員 事務局：川尻こども未来部長、伊藤こども未来部次長、 小川こども政策課長、長谷川指導主事、余語福祉総務課副 主幹、若林青少年育成係長、舟橋指導員、武田指導員、荒 川
《傍聴者》	なし
《会議経過》	以下のとおり

1 部長あいさつ

「駒来塾」につきましては、平成29年度から、こども夢・チャレンジ推進事業の取り組みの一つとして、家庭環境などを理由に、学習塾に通っていない中学生を対象に実施をしてまいりました。

今年度は夏休み期間に、中学生を対象とした駒来塾の見学会の開催を計画しております。今後も引き続き、多くの生徒が学ぶ機会を確保できるよう、駒来塾の運営に努めてまいりたいと考えております。

本日は、令和5年度第1回目の駒来塾運営委員会ということで、今年度及び来年度以降の駒来塾の運営について、委員の皆様には忌憚のないご意見を頂戴し、今後の運営に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

2 委員・事務局紹介(事務局)

3 議 事

- (1) 学習支援事業「駒来塾」概要について
資料3に基づき事務局より説明
- (2) 6月以降の駒来塾運営について
- (3) 生徒の追加募集について
資料4・5に基づき、事務局より説明
- (4) 駒来塾見学会について
資料6に基づき、事務局より説明

【質疑応答・意見等】

(舟橋委員長)

小学生の見学会について、もう少し詳しく教えてほしい。

(事務局)

中学校に入ってすぐに学習支援を必要とする生徒が駒来塾に入塾できるとよいということで昨年度、東部地区の小学6年生を対象に見学会の参加者を募集しましたが、応募がなかったという状況です。

(舟橋委員長)

東部地区を選んだ理由や応募がゼロだった理由を教えてください。

(事務局)

東部地区を選んだ理由としては、比較的会場に余裕があり、受入れやすい体制にあるためです。応募がゼロであった理由については、事務局の方でも分からない部分もありますが、もしかするとまだ勉強に対する気持ちが小学生には少ないのかなということを感じています。

4 意見交換

駒来塾の今後について資料7に基づき、事務局より説明

(梶田委員)

想定として、どれくらいのスタッフの配置が適正なのかということを知りたい。現状において参加生徒に対して、スタッフは何人いるのか。

(事務局)

駒来塾ではこども3人～4人にスタッフ1人という運営を行っています。また、スタッフについては、東部が5人、北里が3人、味岡が7人、小牧が10人体制で組んでいます。

(舟橋委員長)

そうすると、ご本人の都合がよくても毎回来てもらえるとは限らないわけですね。

(事務局)

地区によって、登録していただいている人数が違うので、人数が足りない場合、他の地区に行っていただくこともあります。

東部は生徒数に対して、登録いただいている支援員が多いのですが、車がないなどの理由で東部を希望されます。そうすると、シフトに入る回数をご本人の希望よりも少なくなるため、もう少しやりたいなという声が聞こえてきます。逆に、小牧会場ではかなり生徒が増えましたので、ほとんどの先生方が、事前に教えていただいた日にちの大半を出ていただいているという状況です。

(事務局)

学習支援員等の募集については、以前は広く募集していましたが、様々な方がおみえになって、そこでは色んなことがあったというところで、現在は広く募集をかけずに、声掛けをしたりして運営しています。しかしながら、そのやり方だと、人がなかなか集まらないということも出てきてしまうので、どちらを優先させればいいのかということ是非常に悩ましいです。

(舟橋委員長)

会場の拡充、特に小牧会場はあと6名しか追加募集できない状況で、例えば20名応募があったということになると、大変です。これを考えると、やはり拡充は必要になるのかなと思います。

(事務局)

委員長がおっしゃられた通り、小牧会場の生徒数は非常に多く、小牧会場は小牧中・応時中が対象になりますので、応時中が行きやすい場所ということで、ふらっとみなみを会場にするという話が出ていました。

(安藤委員)

空きがあっても利用がない部屋もありますので、ぜひそういった部屋を会場として活用していただけたらと思います。

学習支援以外での心のフォローは児童館があるとしやすいと思うので、そういったことも含め、ぜひふらっとみなみなどの施設を活用していただきたいと思います。支援員に関しては、地域にはボランティアの方もいると思うので、そういった方を掘り出していただくと増えていくと思います。

(舟橋委員長)

小学生への対象拡充についてはどの会議で意見があがったのか。

(事務局)

子ども子育て会議で、令和4年度の事業に対する評価をいただいた中で、ある委員からいただきました。駒来塾に関しては、どこの会議でも高い評価をいただいている、中学生に入ってテストが始まってからというところで受け入れるよりも、小学生の段階から困らないように、支援の対象を広げたらどうかというご意見がありました。

(舟橋委員長)

中学生たちが成果を上げているので、小学生にも広げたらいいのではないかといいことですね。

(光部委員)

私は児童クラブでも働いていますが、児童クラブではまず宿題をやってから遊びの時間というふうに決まっています。

時間内に宿題をやってしまうことはなかなか難しく、できない子もいるのですが、

児童クラブは保育なので教えてあげることができないため、こうした仕組みができればありがたいと思います。

(松浦委員)

本来、学校現場でやらなくてはいけないことですが、なかなか手が回らないので、こうしたところで助けていただいていることは大変ありがたいことだと思っています。ただ、塾へ行く場合、会場が遠いと保護者の送迎が要りますよね。それはどうなのかなと思います。うちの生徒の中には、実は、なかなか学校に足が向かなかった子が、駒来塾に通っているという例があります。なかなかコンスタントには行けてないようですが、こういう場があるのはありがたいなと思います。こどもたちが自転車で会場まで通っているのであれば、小学生は難しいなと思います。保護者の方が送っていかれるのであればそれも大変だなと思いながら聞いていました。

(舟橋委員長)

小牧のように人数が多くなって入れない場合には、本人がよければ、他地区へ行くこともあると思うのですが、そういう場合は送迎が必要になりますよね。

(事務局)

原則は送迎が基本ですが、実際には自転車でくる子もいます。なかなか、塾の開始までに夕食を食べさせて送ってくるのは難しい家庭もあります。

(舟橋委員長)

送り迎えに厳しい部分がありますね。会場が近ければ、こどもたちだけでくることも可能になるということですね。小学生はどうなのかなというふうに思います。

→意見交換に基づき、駒来塾の今後について事務局にて検討

5 その他

次回第2回委員会は2月頃の予定。日時等詳細は決まり次第連絡。